

読むと元気になる活字のビタミン オレンジ新聞

FROM ● 小山薫堂（責任監修）率いるオレンジ・アンド・パートナーズのゆかいな社員たち

第31号 2011.09.17

街中の理容室を動かした学生の思い 自分たちだから出来ること

東日本大震災の発生からおよそ半年。被災地に隣接する山形県では「復興のためにできることをしよう」と、東北芸術工科大学に通う吉岡太郎さん（20）ら大学生が活動を起こしました。吉岡さんたちの活動は、厳しい暑さに見舞われたこの夏、被災地に山形名物「冷やしシャンプー」を届けるといふもの。吉岡さんたちの気持ちには、被災地に届いたのでしょうか。



▲初めての体験に賑わう仮設住宅地

その名も「愛す(アイス)シャンプー」

「近隣県だからこそできる支援があるのでは」。復興のためにできることは何かと考えた吉岡さん、頭に浮かんだのは慣れ親しんだ山形の冷やしシャンプーを使った支援でした。

冷やしシャンプーとは、山形の理髪店にある夏限定のメニューで、氷やトニックを利用して冷たいシャンプーを行うサービスのことを指します。寒い印象の山形ですが、盆地という土地柄、夏は厳しい暑さに見舞われます。冷やしシャンプーは、そんな山形人の知恵から生まれたのです。

「被災された人たちを少しでも癒せたら」。そんな思いから、吉岡さんたちは冷やしシャンプーを「愛す(アイス)シャンプー」と名付け、被災地の人々に冷やし



▲ノボリをかかげる吉岡太郎さん（右）

シャンプーを提供するプロジェクトを立ち上げました。

多くの人の協力を得て

まずは、山形県内で冷やしシャンプーを行っている理容店を回り、協力を募りました。真っ先に協力の約束してくれたのは、冷やしシャンプーの生みの親でもある理容室「メンズヘアリズム」の店長、大沼幸市さんでした。「自分にできることがあれば」と大沼さん、理容店仲間にも声をかけ、山形市内の多くの理容店の方が集まりました。

そして7月、10人の理容士が宮城県東松島市と石巻市の仮設住宅を訪問し、「愛す(アイス)シャン

プー」を無料で提供しました。1日でおよそ50～60人の方がシャンプーを体験し、受けた人々はこれまでの心にため込んだ思いを吐き出すように、自分たちの被災体験を語ってくれたそうです。「気持ち良かった。また来てほしい」と、自家製のお漬物を差し入れてくれた人もいたといいます。

「シャンプーをする人とされる人が、笑顔で言葉を交わし合う…その光景を作れたことが何よりも嬉しかった」と吉岡さん。

思いついたら、吉岡さんのように第一歩を踏み出してみる。それが周囲の人を動かし、大きな復興支援にも繋がっていくのかもしれない。（ジュニア）

な試みです。オレンジ社内の記念行事である「社員1人1人に仕掛けられる壮大なサプライズ」を、サービスとして皆さまにもお届けしてしまおうという新たな試みです。

その第一弾、お披露目の照準として選んだのは、社長でありオレンジ新聞責任編集長・小山薫堂をターゲットにしたサプライズ。社長の誕生日に合わせ、撮影用に貸し出している一軒家を借り、脚本を練りに練った上で、プロの役者まで用意してしまおうという力の入れよう。周到な準備が進められたのです。

小山はまさかのサプライズに「悔しい」と笑顔を見せ、プロジェクトははまらずのスタートを切る事ができました。関わっている人々すべてがワクワクし、最後に

新事業に サプライズを！

オレンジ新聞編集部がある「オレンジ・アンド・パートナーズ」は、9月5日に創業5周年を迎えました。5年という節目を記念し、新たな事業部を設立させました。その名も、外部の方の要望に添ってサプライズのお手伝いをする「サプライズ事業部」です。

小山はまさかのサプライズに「悔しい」と笑顔を見せ、プロジェクトははまらずのスタートを切る事ができました。関わっている人々すべてがワクワクし、最後に

編集後記
実は薫堂さんも常連。
冷やしシャンプー、
一度おためしあれ。
（小山）

(株) オレンジ・アンド・パートナーズ編集部
お便り・ご感想もお待ちしております。
ご連絡先
ex@orange-p.co.jp
Webサイト
www.orange-p.co.jp

ドラえもん旋風が 発生中！

何気なく利用した地元に向ヶ丘遊園駅で、小さな変化が起きていることに気がつきました。これまで無機質なベル音だけだった発車合図が、陽気なメロディに変わっていったのです。

よく耳を澄ますと、聞き覚えのある音楽。それは、小さいころから何度も口ずさんだ「ドラえもん」のテーマ曲でした。実はこれ、9月3日にオープンした「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」を記念して実施されたもの。発車メロディ



▲パーマンが描かれたバスを発見

以外にも、私の地元・川崎市多摩区は藤子・F・不二雄先生の作品で溢れているのです。ドラえもんやコロ助、オバケのQ太郎など代表

的なキャラクターが裝飾された特別列車の運行のほか、区役所の玄関に「どこでもドア」が登場したり、図書館には藤子不二雄先生の漫画大全集が蔵書されたり…。はたまた家の目の前でパーマンが描かれたバスを見かけ、大興奮！なんてこともありました。

小さいころから毎日のように見ていたアニメのキャラクターが、街にやってくるなんて想像もしていなかったこと。まるで宝探しのように地元をキョロキョロしている、今まで気がつかなかった素敵なお店を見つかり、よい散歩コース

を見ついたりウレシイ副産物も生まれています。ドラえもん登場の瞬間でもあり、陰で少しだけ地元を愛着が湧いた瞬間でもあります。今度、ミュージアムにも出かけようと思います。（しなだ）



▲電車のドアにはこんなステッカーが！

次回は10月15日（土）に掲載します